

# 憧れのままで終わらせない 志あるところに道は開ける



**あ**じさい祭りを前に、千葉テレビ『おじやまします！市町村街かどクイズ』の収録が、多古町で行われました。その番組で、元気がいっぱいアシスタントを務めているのは、この世界に飛び込んでまだ2年目の新人アナウンサー、金杉陽子さんです。

**四**年生になると、本格的にアナウンススクールへ通うことを考え始めていました。しかし、その講義日程が教育実習と重なり、教員かアナウンサーかの選択を迫られた金杉さんは家族を説得、アナウンサーを志すことに。それからの日々は多忙を極めました。スクールの学費を捻出するため、週に4日から5日はアルバイト。大学



かなすぎ ようこ  
**金杉 陽子さん** [24歳・御料地]  
押原忍が設立した『エス・オー・プロモーション』に所属。千葉テレビ『おじやまします！市町村街かどクイズ』（毎週金曜日午後10時30分～）に出演中。特技はおいしい焼鳥屋めぐり！

で授業を受け、就職活動もしながら、アナウンス講座を二つ掛け持ちしていました。講座では、早口言葉で滑舌や発声を身に付け、テレビショッピング実習の体験をしたり、ニュースやナレーションの原稿を読んだり。こうして学びながら、オーディションに挑戦しましたが、なかなかうまくいきませんでした。卒業を控えた2月、友人との旅行をキャンセルしてまで臨んだ千葉テレビのオーディションも、最終選考で落選。卒業式に就職が決まっていなかったのは、友人の中で金杉さんただ一人。応援してくれる両親に申し訳ない思いでいっぱいでした。

**そ**んな金杉さんの下に、事務所のマネージャーから一本の電話が…。以前好評だった千葉テレビの番組を復活するにあたり、2月に落選したオーディションに同席していた番組プロデューサーが、金杉さんをアシスタントに抜てきしてくれたのです。「最初は無我夢中でした。苦勞もあるけれど最近楽しいと思えるようになって

りました。仕事で使い果たしたエネルギーは、多古で充電するんです。『あゝ帰ってきたなあ』ってホッとしますね。毎朝駅まで送ってくれる父。お弁当を作ってくれる母。家族には本当に感謝しています。」と金杉さん。現在は千葉テレビのほか、台東区のケーブルテレビにも出演中で、毎週月曜日から金曜日は区役所で収録や原稿づくり、日曜日は千葉テレビの収録と忙しい毎日です。家族とふるさと多古町を心の支えに、憧れのステージを一步一步、歩んでいきます。

**小**ボーツ雑誌の編集社に入ることと、教員になるという二つの夢がありました。都内の大学へと進学した金杉さんは、法学を専攻し教職課程を履修します。このまま教員になるだろうと思っていた三年生の秋、ふとのぞいた大学の掲示板に見つけた『マスコミ塾』の張り紙。単位に関係はありませんが、テレビやラジオ、新聞関係で働く卒業生が講師に名を連ね「面接に役立つかも」と、軽い気持ちで受講することに。当時は、教員の採用が少なかったこともあり、マスコミについて調べ

